

絵本の読み聞かせ

にほんごひろばは、初めて外国人学習者向けにキッズサポート部に協力を依頼して「絵本の読み聞かせ」を開催しました。当日は、同部のベテラン部員である、青柳さんと佐々木さんのお二人に熱演していただきました。青柳さんは「さるとかに」、佐々木さんは「おじさんのかさ」を読み聞かせ、その後司会者が学習者に対して内容について質問し学習者が回答しました。

開催概要

日時 2024年4月22日（月曜）
11:10~12:10
場所 中央図書館4階 多目的ホール
演者 キッズサポート部
青柳智江さん、佐々木俊之さん
参加者 約20名（うち学習者12名）
司会 にほんごひろば 古沢



読み聞かせに使用された絵本2冊
「さるとかに」 BL出版 神沢 利子著
「おじさんのかさ」 講談社 佐野 洋子著



熱演する青柳さんと参加者の皆さん

参加した学習者(中国人女性)は、翌日の夜、3歳のお子さんに「おじさんのかさ」の話の内容を就寝前に語ったところ、お子さんは3回聞いた後、眠ったそうです。

絵本も日本語初級者には理解が難しいため、2冊ともあらすじを中国語で中国出身者が解説しました。

絵本の読み聞かせ



青柳さん（左）と佐々木さん

2 作品の紹介

「さるとかに」（青柳さん担当）

親を殺された子がにたちが、蜂や栗などと一緒に猿に復讐する物語

「おじさんのかさ」（佐々木さん担当）

自分の持っている立派な傘を雨に濡らしたくないので、雨の時も傘をささないおじさんがついに傘をさした物語

演者の声

皆様が熱心に聞いてくださったおかげで大変楽しく読むことができました。ありがとうございました。（佐々木さん）



熱心に聞く参加者の皆さん。日本語初心者には難しかったようです。



質疑応答

中国語であらすじを解説、英訳も用意

日本語初級レベルの中国人学習者のために、中国出身者があらすじを中国語で解説

質疑応答

学習者が絵本の内容を理解できているか確認するために、司会者が各作品についていくつか質問。上級者がすべて回答し、ほとんどが正解でした。

学習者の声

「さるとかに」は難しかったです。擬態語や擬声語が多くわからない単語もたくさんありました。もっと勉強します。

担当者の声

本企画は、日本の絵本に関心を持ってもらうことと、日本語の聴解力を試すために実施しました。次回やるとすれば、もっと易しい絵本を選ぶ予定です。



中国語で解説の若槻さん（上海出身）